

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

※赤字は県大会出場

修学旅行が行われました

6月15日(木)～17日(土)の日程で、奈良・京都方面への修学旅行を実施いたしました。初日は小雨に降られましたが、2日目・3日目は快晴に恵まれ、クラス活動や班活動で歴史や文化を学んできました。修学旅行のテーマは「礼儀と協力」。実行委員を中心に、集団生活の中で楽しく過ごすためにはどうしたらよいかを深く考え、このテーマを選びました。3日間の集団生活の中で、思い通りに行かないことがあったり、意見の食い違いもあったりしましたが、生徒たちは集団生活における「礼儀と協力」を学んできました。今後の生活の糧となることでしょう。また、日本が誇る素晴らしい文化財を目の当たりにし、さらに学習を深めてみたいと思った生徒も多いことと思います。コロナ禍が少しずつ収束に向かう中で、様々な方に支えられて旅行できたことに感謝して、この3日間の学びを日常の生活に生かしてほしいです。



教職員との面談から

生徒の皆さんは学級担任と1対1の教育相談を年間3回行いますが、先生方も校長・副校長と面談を年2回行います。先生方は、5・6月に行われる当初面談で自身の年間目標を設定し、1・2月に行われる期末面談で、年間の振り返りを行います。先生方も生徒の皆さんと同じように、目標を立てて実行し、成果や改善点を見だし、次のステップに向かって頑張っているのです。

さて、そのような面談において、校長として、先生方に2つの質問をしました。

①教員を目指したきっかけは何でしたか？ ②最大のアピールポイントは何ですか？

面白いことに、同じような傾向が見られました。「きっかけ」として多かったのは、「先生への憧れ」でした。やはり中学校の先生方は、自身が中学生だった頃の担任や部活動の顧問に憧れを抱き、そのような先生になりたいと教員を目指した方が多かったです。また、「最大のアピールポイント」として多かったのは、「誰とでも仲良くなれる」・「協調性」・「子どもや人が好き」でした。まさに先生方に必要な資質です。生徒の皆さんも、進路を決定する上で、「〇〇への憧れ」が大きいかもしれません。様々な場面で接する人たちとの出会いをぜひ大切にしてください。また、自信を持って私の強みは〇〇ですと言えるといいですね。特技がなくても、自分の特徴を生かす強みは絶対あるはずです。見つけてみましょう。